

## 確かな暮らしの実現に向けて

# 新たな時代の流れに即応できる街づくり

第五次塩尻市総合計画は、急速に進む人口減少、超高齢社会の中、本市が 元気な地方都市として内外に選ばれる地域であり続けるために、重点化を明 示し、限りある経営資源を有効活用する戦略計画として策定いたしました。 さらに、全国2番目の早さで策定した、塩尻市まち・ひと・しごと創生総合 戦略と一体的に、地方創生のフロントランナーとしての歩みを着実に進め、 現在に至っています。

平成27年度からこれまでの2期の中期戦略では、本市の持つ最大の強み「暮らしやすさ」に磨きをかける取り組みとして、「子育てしたくなるまち日本一」を目指した諸施策をはじめ、農林業再生、産業育成等、市民の皆様の「確かな暮らし」の実現のために経営資源を集中的に投入してきました。こうしたことから、市の総人口において、令和2年の国勢調査速報値67,302人は、平成27年同調査結果に比べ167人増えており、また、第五次総合計画策定時に設定した目標値65,779人を大きく上回るなど、地方創生の確かな結果が表れてきた手応えを実感しています。

これからの3カ年、第3期中期戦略では、アフター・コロナを見据え、デジタル・トランスフォーメーションの推進や関係人口創出といった、新たな時代の流れを取り入れたまちづくりにも果敢に挑戦しながら、「確かな暮らし未来につなぐ田園都市」を実現していきます。皆様も明るい未来の到来を信じ、本市の確かな明日のための一歩をともに進めてまいりましょう。

令和3年4月



塩原	元市の姿	•• 4
	期戦略 	
1	第五次総合計画の概要	
	総合計画の策定方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	総合計画の構成	8
	総合計画の進行管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
2	目指す都市像	
	本市を取り巻く環境の変化 ~ 2040 年の世界・日本・塩尻市~ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
	本市が 30 年後にも"選ばれる地域"であり続けるために	11
	目指す都市像	12
	基本戦略 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	14
	基本戦略 A 子育て世代に選ばれる地域の創造 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
	基本戦略 B 住みよい持続可能な地域の創造 ·····・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
	基本戦略 C シニアが生き生きと活躍できる地域の創造 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
	基本戦略を包括し機能的に推進するプロジェクト	19
3	都市像の実現へ向けた行政経営の考え方	
	行政の使命・業務領域 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	20
	行政マネジメントの基本方針	21

## 第3期中期戦略

1	第五次総合計画 中期戦略の概要	
	中期戦略の位置付け・構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
	持続可能な開発目標(SDGs)との関係 ·······	25
2	プロジェクトの概要	
	プロジェクトの全体像 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
	成果指標 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	27
	新型コロナウイルス感染症対策や「新たな日常」への対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
3	全市戦略	
	全市戦略の構成と見出しの説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
	プロジェクト 1 子どもを産み育てる環境の整備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
	プロジェクト 2 教育再生による確かな成長の支援	37
	プロジェクト3 産業振興と就業環境の創出 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
	プロジェクト4 地域資源を生かした交流の推進	49
	プロジェクト 5 域内循環システムの形成	54
	プロジェクト6 危機管理の強化と社会基盤の最適活用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	59
	プロジェクト7 生涯現役で社会貢献できる仕組みの構築・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	69
	プロジェクト8 健康寿命の延伸と住み慣れた地域での生活継続	73
	プロジェクト9 地域ブランド・プロモーション	78
	プロジェクト 10 地域課題を自ら解決できる「人」と「場」の基盤づくり	82
付		
	1 第 3 期中期戦略の各施策と SDGs の 17 ゴールとの関係 ·······	92
	2 長期財政フレーム	94
	3 第3期中期戦略策定に向けた検討等の経過	95
	4 塩尻市総合計画審議会委員名簿 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	95
	5 第五次総合計画第3期中期戦略庁内策定組織名簿	96
	6 諮問	97
	7 答申	98
	用語解説 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	99

<sup>\*</sup>マークの付いた用語の解説が冊子巻末の「用語解説」のページに掲載されています。

# 塩尻市の姿

# 塩尻市民憲章(昭和56年6月26日議決)

### わたくしたちは

美しい自然と伝統ある文化に恵まれた ふるさと塩尻の市民であることに誇りをもち だれにも親しまれ愛される豊かな田園都市をめざして ここに憲章を定めます

一 わたくしたちはみどりを大切にし田園と都市の調和のとれた風格あるふるさとをつくります

Land orthonormal

- 一 わたくしたちは健康で働くよろこびを大切にし活力ある住みやすいふるさとをつくります
- 一 わたくしたちは 心のふれあいを大切にし 文化のかおり高い夢のあるふるさとをつくります



市の花 キキョウ



市の木 イチイ

#### ❖沿 革

本市は、昭和34年に塩尻町、片丘村、広丘村、宗賀村及び 筑摩地村の1町4村の合併により市制を施行し、続いて昭和 36年に洗馬村が、平成17年に木曽郡楢川村が編入合併となり、 今日に至っています。



本市は、松本盆地の南端、長野県のほぼ中央 に位置し、市内には信濃川水系と天竜川水系の 各河川が流れ、塩尻峠と善知鳥峠、鳥居峠は、 太平洋と日本海への分水嶺となっています。

地形は扇状地形で、東西17.7キロメートル、南北37.8キロメートル、面積は約290.18平方キロメートルを有しています。北アルプス、鉢盛連峰、東山・高ボッチ山、さらには中央アルプスの山並みを背景に田園風景が広がる、清浄な水と緑に囲まれた歴史あるふるさとです。

また、太平洋側と日本海側の交通が交差する 交通の要衝で、鉄道はJR中央東線・西線及び 篠ノ井線が通過するとともに、主要幹線道路は、 長野自動車道のほか、一般国道19号、20号及 び153号が通過し、分岐点にもなっています。 昭和40年には松本空港(信州まつもと空港) が開港し、国際化に向けた要件も備えています。

産業面を見ると、農業は、都市近郊型の利を 生かして、野菜と果樹の生産体制が形成され、 レタスを中心に豊富な種類の野菜が栽培されて います。また、果樹は、ブドウ、リンゴ、ナシ 等が栽培され、特に、欧州系ブドウを原料とす るワインの醸造は、国際的にも高い評価を受け ています。 林業は、豊かな森林資源を活用し、産業の活性化と森林の再生を図るとともに、木質バイオマス発電等、熱資源の利用による循環型社会の形成へと可能性を広げています。

基幹産業の製造業は、市内に、最先端の技術、 人材、拠点施設等が集積し、高い製造品出荷額 を誇るなど、市内産業を牽引しています。

また、400年以上の伝統を誇る木曽漆器は、 今なお、その伝統技術を継承し、地場産業とし て栄えています。

観光では、奈良井宿、平出遺跡などの歴史的・文化的遺産、優れた自然景観を有する八ヶ岳中信高原国定公園高ボッチ高原などの観光資源も豊富で、地域資源を活用した新たな価値を付け加えるなど、観光地としての魅力向上を図っています。

こうした社会・経済を背景に、自然と都市が 調和した都市として発展が期待されています。

塩尻市の広さ

面 積	290.18 km <sup>2</sup>
東 西	17.7 km
南北	37.8 km
周 囲	114.6 km

#### 塩尻市役所の位置

東 経	137° 57'12"
北 緯	36° 06'53"
標高	713 m

